

〇とっとりSDGs伝道師（令和6年10月1日時点）

所属	氏名	主な活動分野等
ごうぎんエナジー(株) 副部長	イノウエ ミツノブ 井上 光悦	【SDGs全般（概念・実践手法など）】 SDGsビジネスコンサルタントとして企業目線でのSDGsとの向き合い方・実践手法など研修・セミナーを通じて数多く実施している。 自治体や教育機関等に対しても地方創生や地域課題・人権など、其々の問題意識に沿った内容でワークショップやカードゲームなどで楽しく理解を深めるサポートを行っている。
流通(株)整理収納アドバイザー	エバラ トモミ 江原 朋美	【SDGsの取組活動紹介等】 必要なくなったランドセルを回収し、必要な方へ届ける「ランドセルプロジェクト」を運営し、教育分野への普及に力を入れている。
鳥取県ユニセフ協会 事務局長	オクダニ ヒトミ 奥谷 仁美	【子供たちへの支援、ユニセフの活動とSDGsの関連】 特に子どもの人権などの分野を切り口としたSDGsの啓発を実施。地域団体等幅広い分野での講演に取り組んでいる。
琴浦町立東伯中学校	コマツ アモエ 小松 亜希恵	【SDGsの概要や成り立ち】 県内外の学校や企業等に対し、オリジナルワークショップなどを織り交ぜながら積極的にSDGsの普及啓発を実施。
(株)澤寿運輸	サワダ ケンゴ 澤田 健吾	【SDGs全般】 カードゲーム“2030SDGs”、ボードゲームの認定ファシリテーターであり、教育機関、企業等で講演を行うなどSDGsの地域での普及に寄与。経営、教育など企業等の課題に合わせた講演を行っている。
リコージャパン(株) 鳥取支社 SDGsキーパーソン	オサキ サトル 尾崎 悟	【SDGsの概要・成り立ち、企業の取組事例紹介】 県内でのSDGsセミナーを開催するなど、企業の立場でSDGsの普及に積極的に取り組んでいる。
TottoriMama's 代表	ナカイ ミズホ 中井 みずほ	【取組事例紹介】 子育てや地域をメインに、女性が笑顔で育児に向き合えるきっかけとなる場所の提供に取り組んでいる。 孤立しがちな子育て中の保護者がコミュニティへ参加することにより、自分と同じ子育てをする方々や地域、社会との繋がりをもち、鳥取での子育てが地域等のサポートにより日々の暮らしが豊かに、そして子育てにより孤立を防ぐ場所の提供に取り組んでいる。
美保テクノス株式会社	ナダタニ ユウコ 洋谷 友子	【SDGs全般】 カードゲーム“脱炭素まちづくりカレッジ”“SDGs de 地方創生”“風水害24”公認ファシリテーターであり、企業や学校等で脱炭素や防災、まちづくりに関するSDGsの体験型研修を行っている。
大成工業株式会社 取締役	マツモト ヤスヒロ 松本 安弘	【SDGsに関する取組紹介】 無電力、無放流で使用可能な環境配慮型トイレを、海外のトイレ普及率の低い国へ導入することを通して、環境省や外務省のODA事業に取り組んでいる。 ※大成工業は令和4年度とっとりSDGsビジネスアワード最優秀賞を受賞
株式会社鳥取銀行 鳥取県ユニセフ協会 学生部顧問	モリタ コウシ 森田 恒志郎	【国際協力やユニセフ関連】 特に子どもの人権などの分野を切り口としたSDGsの啓発を実施しており、SDGsカードゲームや絵本などのオリジナル学習教材を開発し、県内公民館、小中学校などで子ども向けの普及啓発に取り組んでいる。
学校法人かいけ幼稚園 会長	ヤナギタニ ユリ 柳谷 由里	【SDGs全般】 書籍出版等の経験実績を活かし、県内のSDGs推進企業の紹介、企業への取り入れ方研修や、torimiraプロジェクトでこどもSDGs伝道師の育成もしている。

<p>鳥取大学地域価値創造研究教育機構 (NICO Claft、鳥取県男女共同参画審議会委員)</p>	<p>モリタ ショウゴ 森田 将悟</p>	<p>【主にNo. 5・No. 14】 地域と大学（研究者、学生）の連携を通じてSDGs全般に関わる取り組みをコーディネートしている。 また、海プラゴミを利用した工作ワークショップにより、子どもたちが楽しみながら環境意識や創造力を育む活動を展開している。</p>
<p>JICA中国（鳥取県JICAデスク）</p>	<p>シュトウ 首藤 あずさ</p>	<p>【国際協力や海外の生活・文化】 アフリカのシエラレオネ共和国で10年間生活しJICAシエラレオネ支所に勤務。個人的にもリサイクル活動や村の農業支援などのボランティアに従事していた。 現在はJICA鳥取デスクで国際協力推進員として県内の公民館や小学校等でシエラレオネの文化や生活の様子など、途上国の現状やSDGsの理念を伝える活動を実施。</p>
<p>IPPORABO合同会社</p>	<p>タナカ タイチ 田中 大一</p>	<p>【教育関連事業・国際協力活動】 「途上国の教育環境を良くしたい」という思いから、日本の政府開発援助（ODA）で東南アジアを中心に中米、アフリカに小学校や中学校を建設する仕事を経て現在の事業を創業。 国際協力、国際交流、教育環境の整備という観点からSDGsを伝える活動を実施。インドを訪問し現状を学んだり、学習道具を無償提供するなど広く活動中。</p>